

## 開発目標:

カスピ海ルート の重要性の高まりや中央アジア各国政府が域内外の連結性を強化する方針を打ち出していること等を踏まえ、日本として、欧州等と共に、カスピ海ルート の円滑化を図る。これにより域内外の連結性を強化し、同地域の質の高い経済成長、自律性の強化及び我が国を含む関係国の経済安全保障の強化につなげる。

## 開発シナリオ:

- ・カスピ海ルート の整備において、課題である税関プロセスの円滑化に資するべく、税関機材等のハード面を整備するとともに、各国税関職員の能力向上等を実施する。
- ・この地域の産業振興や投資誘致に向けた環境を整備する。
- ・国際機関、EU、G7等と連携し、また、この地域への進出に関心を有する日本企業とも連携し、その知見やノウハウを活用する。

## 協力メニュー:

### 1 カスピ海ルート の整備(ハード面)

- ・貨物検査用機材(大型X線機材等)の整備(カザフスタン、タジキスタン)、橋梁の架け替えを含む交通インフラの整備(キルギス)

### 2 カスピ海ルート の整備(ソフト面)【技術協力】

- 通関所要時間調査、リスク管理能力向上に関する専門家養成(中央アジア各国等対象。世界税関機構(WCO)と連携。)
- 税関職員の能力強化(財務省との連携による密輸等への対処に関する研修。ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン等対象。)
- グリーン化関連研修(港湾貨物の取扱効率化等の研修。カザフスタン他対象。)

### 3 カスピ海ルート の実証輸送調査やビジネスツアーの実施(国土交通省)

### 4 ウズベキスタン郵便におけるコールドチェーン(医薬品)の実装可能性に関する調査(総務省)

### 5 スマートマイニング+による持続可能な環境調和的鉱山開発システムの構築【科学技術協力】

- ・北海道大学とナザルバエフ大学(カザフスタン)が共同で環境汚染を抑制する持続的な鉱山開発方法(スマートマイニング+)の研究を行う。

# 中央アジア：カスピ海ルートの開通支援を含むコネクティビティ強化

スケジュール及び資源投入量（想定）：

調査他

無償資金

技術協力

その他

関係省庁・国際機関等

2024年

2025年

2026年

2027年～

基礎  
情報  
収集  
調査

第三国研修（カスピ海ルートの開通所要時間調査、リスク管理能力向上に関する専門家養成）  
（WCO連携）中央アジア各国等

課題別研修（税関職員的能力強化）  
中央アジア4か国等

広域国別研修「カスピ海ルートグリーン化に関する人材育成」  
カザフスタン、トルクメニスタン等

日本センターを活用したビジネス・マッチングやビジネス振興に関する人材育成  
（専門家派遣：2022年から実施）カザフスタン、ウズベキスタン、キルギス

スマートマイニング+による持続可能な環境調和的鋼材開発システムの構築（SATREPS） カザフスタン

国土交通省による  
日欧間カスピ海ルート実証輸送調査  
及び  
中央回廊ビジネスツアー

「中央アジア+日本」  
対話・首脳会合  
（2025年12月）

貨物検査用機材（大型X線機材（カザフスタン、タジキスタン）等）  
橋梁（キルギス）等のハード・インフラの整備

総務省によるウズベキスタン郵便におけるコールドチェーン（医薬品）の実装可能性に関する調査 ウズベキスタン

中央アジア地域で活動中又は進出に関心のある日本企業との連携

G7やEU等との連携



# 中央アジア：カスピ海ルートの円滑化支援を含むコネクティビティ強化

カスピ海ルートにおける通関所要時間調査、リスク管理能力向上に関する専門家養成（WCO連携）（中央アジア各国等）

研修（カスピ海ルートのグリーン化に関する人材育成）（カザフスタン等）

大型X線機材（カザフスタン、タジキスタン）、橋梁（キルギス）等のハード・インフラの整備

研修（税関職員的能力強化）（ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン等）

スマートマイニング+による持続可能な環境調和的鋼材開発システムの構築（カザフスタン）

